

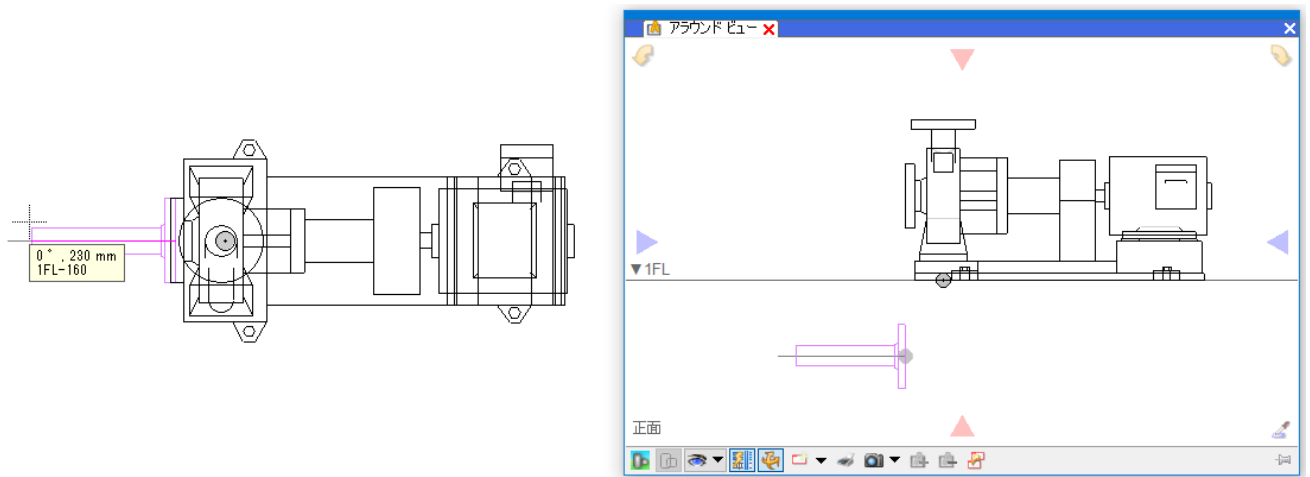
Q

ユーザー部材から取り出したルートが、部材とずれて表示される

A

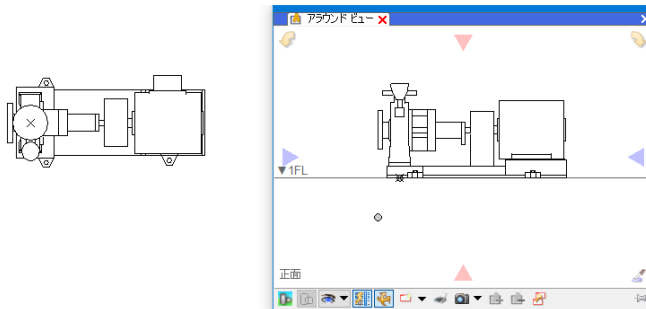
[ユーザー部材の編集]から「3D+CG」の基準点の位置を変更します

ユーザー部材から取り出したルートが部材からずれた位置に表示される場合は、ユーザー部材の登録時の「3D+CG」の基準点の高さが他の面に登録した基準点の位置と合っていない。基準点を変更して登録し直します。



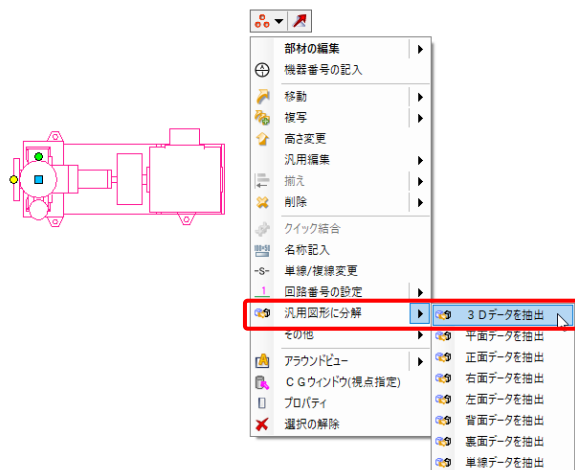
1

登録したユーザー部材を図面上に配置し、アラウンドビューで断面表示します。



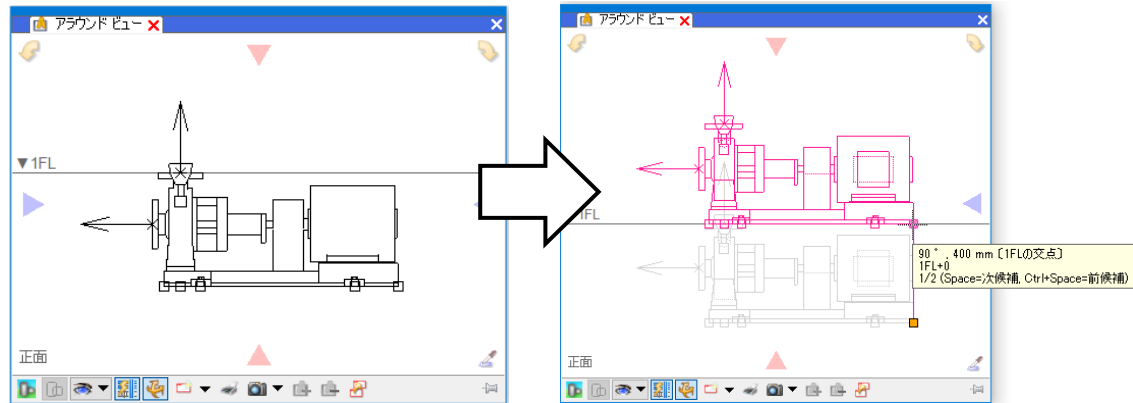
2

部材を選択し、コンテキストメニューから[汎用図形に分解]-[3D データを抽出]を選択します。



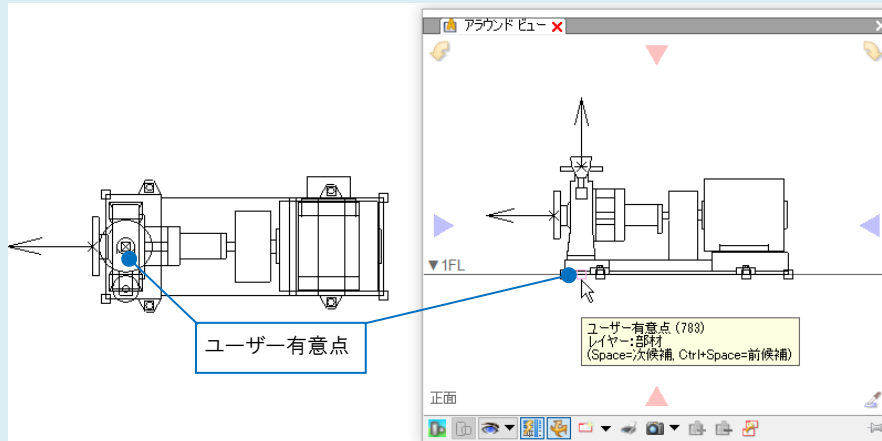
3

アラウンドビューで確認すると「3D+CG」で登録した基準位置を基に位置がずれます。分解した部材を選択し、図形を高さ方向に移動します。



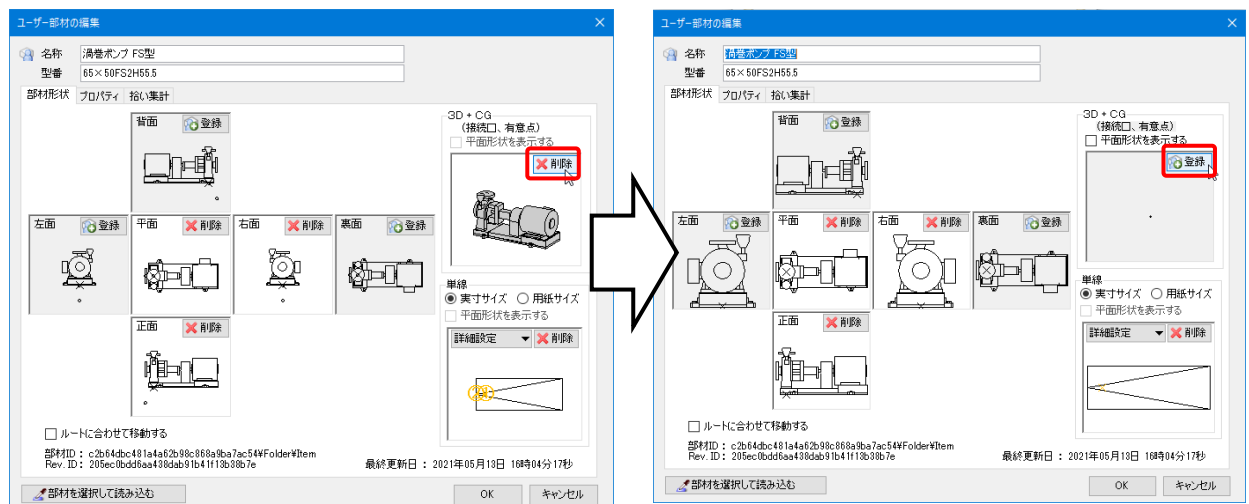
●補足説明

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]横の[▼]から[ユーザー有意点]を選択して基準位置に配置しておく、と「3D+CG」を登録する際の高さの目安となります。ツールチップで高さを確認して指定してください。



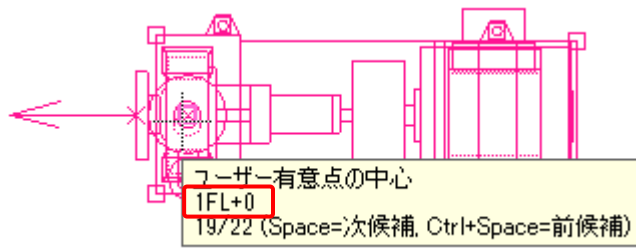
4

[機器器具]タブ-[ユーザー部材]を選択し、該当のユーザー部材の型番を右クリックして[ユーザー部材の編集]を開きます。「3D+CG」欄で[削除]をクリックして削除します。「3D+CG」を登録し直すため、[登録]ボタンをクリックします。



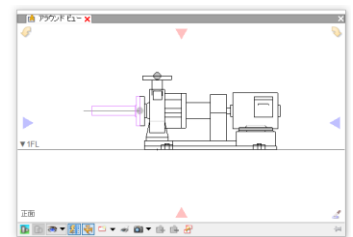
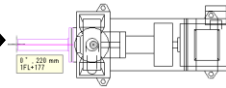
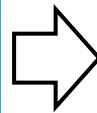
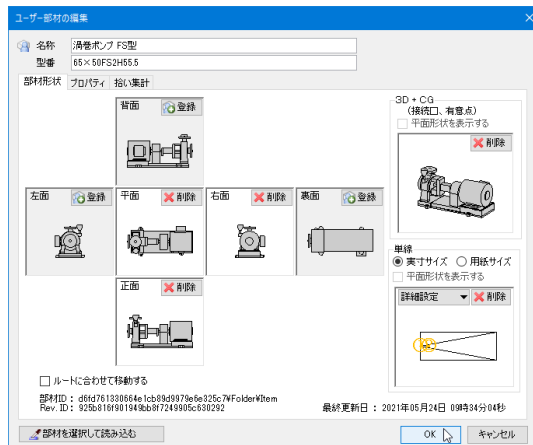
5

分解した 3D 図形を選択します。Enter で確定し、基準点を指定します。
他の面と同じ高さの有意点を基準にします。指定したい高さの有意点がツールチップに表示されない場合は Space キーで仮選択を切り替えます。



6

[OK]をクリックしてユーザー部材を登録します。指定した接続口の高さでルートを取り出すことができるようになります。



●補足説明

配置済みの部材を編集後の部材に置き換える場合は、FAQ「[配置した部材を、登録し直した部材に置き換えたい](#)」を、平面や断面など各視点方向で部材の位置がずれる場合は、FAQ「[配置したユーザー部材の位置が視点によってずれて表示される](#)」をご参照ください。